

報道関係者各位

農家自慢の梨が勢ぞろい 平成30年度松阪梨果実品評会開催

JA 松阪梨研究部会（部会長：堀端満）では、8月4日に松阪梨果実品評会を開催します。同品評会は、松阪梨のブランド化を確立し、栽培農家の所得向上と生産意欲の向上を目的として開催しているもので、松阪市役所職員や県職員、JA職員らが審査員となって、出品された梨の大きさ、形、糖度や風味などを審査し、表彰を行います。

審査するのは主に幸水が対象です。JA管内では、明治時代から梨の栽培が始まったと言われており、現在は22人、約4haで栽培されています。

今年の生育状況は、春先の天候の影響により開花時期が平年より1週間程度早くなりました。その後の生育についても順調であり、主だった病害虫の被害も平年に比べ少ない傾向にありますが、後半の降雨量が少なく猛暑の影響により、焼け果等の被害果が多く出荷に影響を及ぼしています。また、先日の台風12号の影響により2割～3割程度の落果がありました。現状としては、平年より少し小玉傾向で出荷しているが、糖度も良く上々の仕上がりにです。当JAでは、7月27日より「幸水」の撰果を開始し、県内市場にむけて出荷を行っています。

日時：8月4日（土）

場所：JA松阪西部営農振興センター

（住所：松阪市伊勢寺町595-1）

日程：午前10時30分～ 審査員取材対応（15分程度）

午後12時頃 入賞者決定（予定）

○JA松阪梨の生産情報

生産部会：JA松阪梨研究部会

生産者数：22人 生産面積：約4ha

主な産地：笹川町・小阿坂町・稲木町・曲町他

昨年度出荷量：幸水（8月上旬～8月中旬）
約20トン（本年17トン）

豊水（8月下旬～9月上旬）
約6トン（本年3トン）

出荷先：県内市場

【栽培品種】

- ・幸水 果肉が柔らかく特有の香りがあり、みずみずしく甘みが強いのが特徴。
- ・豊水 大きく濃厚で、みずみずしく歯ごたえがあり、甘味と酸味のバランスが良いのが特徴。



← 昨年の品評会の様子

【お問い合わせ】※取材の際は事前にご連絡ください。写真の提供も致します。

JA松阪 企画部 企画広報課（広報担当：池田、森本）

TEL：0598-28-8822（事務所）、080-4177-6832（業務用携帯） FAX：0598-28-2122

HP：<http://www.ja-matsusaka.or.jp/> E-mail：kouhou@ja-matsusaka.or.jp